街　路　灯



|  |  |
| --- | --- |
| 記入要領 |  |
| ＊申請書は、入力用のシートで必要事項を入力した後、A4の用紙に印刷してください。＊氏名（法人の場合は名称）には、フリガナを付けてください。＊申請印を、押印してください。＊担当者は、申請事項について事務連絡のできる方の氏名を記入してください。＊路線名は、所轄土木事務所に備付けの名古屋市道路認定図または名古屋市道路認定図ウェブサイト（http://www.douroninteizu.city.nagoya.jp/）で確認のうえ、記入してください。＊許可後直ちに工事着手する場合は、占用の期間及び工事の期間欄の始期は、「許可の日」　と記入してください。＊占用の目的には、「道路照明のため」と記入します。＊占用物件の規模は灯具及び照明の種類を、数量は設置本数を記入してください。＊占用期間の終期は、占用開始から５年度目の末日（３月３１日）を記入してください。 |
| 添付図書 |  |
| 付近見取図（防犯灯位置図、申請団体の区域が明示された図面）、立面図、構造図（カタログ）、交通安全対策図、保守管理体制、確約書、現況写真　街路灯を設置するために専用の柱を設置する場合は、上記の書類及び下記の書類基礎詳細図、地下埋設物調査票、同意書（地先同意等）　　 |
| 基準のあらまし |  |
| ＊設置者は、商店街振興組合、町内会その他これらに準ずる団体であること。＊灯柱は、できる限り等間隔かつ整然と配置すること。＊歩道に設ける場合は、歩道の有効幅員を２ｍ以上確保すること。＊灯具などの灯柱からの出幅は、灯柱の中心から１．５ｍ以下であること。＊灯具などの最下部と路面との距離は、５ｍ以上であること。　ただし、歩道上においては、３ｍ以上とすることができる。＊形状及び色彩は、周辺景観と調和したものであること。＊風圧その他の外力に対して十分な強度を有する構造であること。＊照明は、信号機又は道路標識の効用を妨げないものであること。＊電線類の地中化が計画され、又は実施された道路については、地下電線により配電すること。＊占用者名を表示すること。（表示範囲：１５㎝×８㎝以内。管理番号・連絡先を併記） |